

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【公開番号】特開2015-154038(P2015-154038A)
 【公開日】平成27年8月24日(2015.8.24)
 【年通号数】公開・登録公報2015-053
 【出願番号】特願2014-29364(P2014-29364)
 【国際特許分類】

H 0 1 F 38/08 (2006.01)

H 0 1 F 38/42 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 31/06 5 0 1 C

H 0 1 F 19/04 R

H 0 1 F 31/06 5 0 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月26日(2017.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

放電電極を有する放電装置に使用され、前記放電電極と電氣的に接続される高周波トランスであって、

閉ループを形成するコアと、

表面が絶縁体により被覆された導体を含む1次巻線と、

表面が絶縁体により被覆された導体を含む2次巻線と、

を備え、

前記1次巻線および前記2次巻線は、前記コアの周方向に交互に巻装され、

隣接する前記1次巻線と前記2次巻線の間絶縁部材が存在することを特徴とする高周波トランス。

【請求項2】

前記絶縁部材は、絶縁性の樹脂材であり、前記コアの表面に接しつつ、前記1次巻線と前記2次巻線に存在することを特徴とする請求項1に記載の高周波トランス。

【請求項3】

前記コア、前記1次巻線および前記2次巻線は、絶縁部材により封止されていることを特徴とする請求項1または2に記載の高周波トランス。

【請求項4】

前記1次巻線および前記2次巻線を前記コアに対して所定の間隔で巻装するためのガイド部材をさらに備えることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の高周波トランス。

【請求項5】

前記ガイド部材は、その外周および内周の少なくとも一方に、前記1次巻線および前記2次巻線と対応する箇所形成された複数の溝を有することを特徴とする請求項4に記載の高周波トランス。

【請求項6】

前記1次巻線の一端および他端は、前記コアの第1箇所から束ねて引き出されており、

前記 2 次巻線の一端および他端は、前記コアの前記第 1 箇所と反対側の第 2 箇所から束ねて引き出されていることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載の高周波トランス。

【請求項 7】

前記 1 次巻線と前記 2 次巻線の巻数は等しいことを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載の高周波トランス。